

# “雪の結晶写真展”



開催期間：令和2年10月15日（木）、10時～17時

場所：福井市 ハピリン（ハピテラス広場の1/4）

主催：NPO法人ふくい科学学園（2020年度日本郵便年賀寄付金配分事業）

後援：日刊県民福井・中日新聞

雪の結晶は自然の美の象徴と言われます。雪の結晶は理科の教材としても素晴らしい物です。しかし、観察中に雪が融けてしまうため、北海道以外では雪の結晶の顕微鏡観察は殆ど行われていません。我々NPOでは、ごく簡単な方法を用いて雪を融かすことなく顕微鏡観察を実現しています。これまで福井県奥越地方等で撮影した美しい自然雪の結晶の写真に加えて、人工雪の結晶の写真も展示します。体験コーナーでは、北海道旭川市科学館から提供して頂いた“雪のレプリカ”を顕微鏡で見ることができます。



スキー場で雪の結晶を顕微鏡で観察



角板付き樹枝六花



星状六花（人工雪）



樹枝六花（マルチカラー照明）



シダ六花（マルチカラー照明）



雪のレプリカ（マルチカラー照明）